

起草委員による検討の概要

IV. 評価に係る知見の概要（ハザードの特性評価）

- 全体構成

1. 牛の非定型 BSE の疫学情報
2. 脊柱について
3. 非定型 BSE の人への感染性
4. 用量反応

に分けて整理（整理結果の概要は資料 2 - 2 参照）

- 非定型 BSE の疫学情報については、直近の TSE レポート、L-BSE の発生に係る疫学知見を追加

- 脊柱（DRG）の感染性については、感染価を中心に記載

- 非定型 BSE に係る DRG の感染価を検討した知見は、2 件（マウスバイオアッセイ、RT-QuIC 法）のみであったことから定型 BSE に関する知見も確認¹

- 非定型 BSE の人への感染性については、実験動物を用いた感染実験について、過去の評価書での知見を総括するとともに、2019 年 1 月評価以降の新たな知見について確認

- 過去の評価書に記載されていた厚生労働科学研究の一部が論文化された旨を記載

- 感染実験に関する知見の概要を記載し、詳細については表に集約

- まとめ（案）において、マウスを用いた感染実験について、プリオンたん白質の発現量の関与について言及

- 新たな項目として、用量反応（用量と閾値）について言及

¹ 評価書（案）たたき台に引用した以外に検討した知見：SSC (Scientific Steering Committee): Opinion and Report Assessment of the human BSE risk posed by bovine vertebral column including dorsal root ganglia. Adopted by the scientific steering committee at its meeting of 16 May 2002.